

4. 子ども読書活動推進計画

「豊中市子育ち・子育て支援行動計画 こどもすこやか育みプラン・とよなか」に盛り込まれた「豊中市子ども読書活動推進計画」の理念にもとづき、子どもの読書環境整備に取り組んでいる。

平成28年度は、各図書館による聞き取り調査をもとに家庭保育所・認可外保育所を対象とした長期貸出サービスを実施し、未就学児の読書環境の充実に取り組んだ。また「子ども読書活動連絡会」では、視覚障害のある子どもの保護者の体験談を聞くとともに、大活字本や点字付きわる絵本など多様な資料の展示「すべての人へ本の喜びを～さわってよむ・きいてよむ・拡大してよむ～」を見学した。このことがきっかけとなり「りんごの棚」展示セットの作成、貸出をはじめた。実際に見てさわれるため、子どもから大人まで好評だった。

1歳6か月児健康診査で配布している「とよなかこども読書マップ」の更新など、今後もひきつづき、関係部局・施設・団体・市民と連携しながら、「子ども読書活動連絡会」の協力体制をもとに、子どもたちの読書環境整備をすすめる。



「子ども読書活動連絡会」



「すべての人へ本の喜びを」の見学会（岡町図書館）

5. 事業報告

◆ 暮らしの課題解決を支援するサービス

図書館では平成23年度より、市民生活のうえで特に関心の高い課題として「医療・健康情報」「多文化共生」「ビジネス・就労」「子育て・DV（ドメスティック・バイオレンス）」の4つのテーマを設定している。岡町・庄内・千里・野畠の各図書館でそれぞれのテーマにそった資料・情報を収集し、関係部局・機関と連携した取り組みをすすめている。

テーマごとの取り組みについては次表にまとめた。



ビジネスゼミナール（Bゼミ）
「サバへの愛を語り 3685万円を集めた話」

各テーマごとの取り組み（協働事業を除く）

医療・健康情報	<p><講 座></p> <p>医療健康情報レクチャー（「高齢者のスキンケア～介護とおむつのはなし～」他 岡町図書館・高川図書館にて3回、市立豊中病院と連携）</p> <p><関連資料の出張展示・貸出></p> <p>健康カレッジ（中部保健センターにて3回、主催：健康増進課） 市民健康づくりフォーラム（中部保健センターにて、主催：健康増進課） 豊中市保健所主催の講座（豊中市保健所・すてっぷホールにて4回）</p> <p><医療健康情報支援サービスのPR></p> <p>とよなか市民健康展（中央公民館・アクア文化ホールにて、主催：市医師会・歯科医師会・薬剤師会）</p>
ビジネス・就労	<p><講 座></p> <p>ビジネスゼミナール（Bゼミ）（「サバへの愛を語り3685万円を集めた話」他 千里図書館・岡町図書館・庄内図書館にて4回、共催：産業振興課） 産業フェアスペシャルセミナー（「知る人ぞ知る！豊中のイチオシ店」千里図書館にて1回、共催：産業振興課）</p> <p><関連資料の出張展示・貸出></p> <p>経営セミナー・起業セミナー・創業フォローアップセミナー (とよなか起業・チャレンジセンターにて19回、主催：産業振興課) ハローワークセミナー（千里公民館にて1回、主催：ハローワークプラザ千里）</p> <p><ビジネス・就労支援サービスのPR></p> <p>とよなか産業フェア（千里コラボにて、主催：産業振興課）</p>
多文化共生	<p>「声を出して読みましょう。聞いて楽しむための本」 日本語・イタリア語によるおはなし会（千里図書館にて2回、イタリア文化会館と連携）</p>
子育て・DV	<p>講演会「幼い子どもを守るために知りたい、防災のこと」 (野畠図書館にて、共催：危機管理課) パネル展「女性に対する暴力をなくす運動」 (野畠図書館にて、共催：とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ)</p>

◆ レファレンスサービス

市民が抱く日常のさまざまな疑問・課題の解決のため、資料・情報の提供や、関連機関・相談窓口・専門家の紹介などのサポートをおこなっている。昭和44年から専任職員を配置し、現在ではWebサイト・来館・電話・FAXで受け付けている。その事例の蓄積に加え、地域の課題解決支援の中で得た連携先とのつながりを活かして、個々の事情に合わせたサービスにつとめている。

今後の調査の参考になるレファレンス内容は記録をとり、一部は国立国会図書館のレファレンス協同データベースを活用して公開している。また、豊中関連の事例を「調査事例紹介ポスター・チラシ」で掲示し、職員のノウハウを調べ方ガイド「検索なび」に反映するなど、図書館の有効的な活用法を知ってもらう機会としている。

平成28年は、1年間にレファレンス協同データベースへ登録した件数が383件、豊中市の事例に対するアクセス数も748,309件と多かったことにより、国立国会図書館から5年連続で礼状が授与された。アクセスを受けた数は全参加館中第6位、市町村立図書館の中で最多である。また、レファレンス協同データベースの「Twitter20,000フォロー記念」では、26年9月から28年8月までのリツイート数第3位(634回)に豊中市の事例「3人きょうだいの真ん中が主人公の児童書」があがった。

事例を公開することで、ほかの参加館からの情報提供も受けることができ、これまで未解決だった調査の回答が得られるなど、レファレンスの精度も高まった。今後も職員間や全国の図書館との情報共有をすすめることで、サービスの向上につとめる。

◆ 個人貸出サービス

＜貸出室・一般図書コーナー＞

平成28年度の登録率は38.1%。個人有効登録者数は151,030人とほぼ横ばいである。継続貸出を除いた成人書の個人貸出冊数は1,891,388冊(1.4%減)、15歳以上の個人貸出人数は877,384人(1.4%増)となり、登録率同様横ばい傾向にある。40歳以上の個人貸出人数はひきつづき増加しているが、10代後半から30代の利用は減少している。ライフスタイルの変化などへの対応に加え、若年層にむけて来館をうながす働きかけも必要である。リクエストは個人予約点数750,441件(1.9%増)と増加傾向にある。Webサイトからの予約が増え、スマートフォンやタブレット端末の普及も要因と考えられる。

トピックスに示した新しい取り組みのほかに、9回目となる特集展示にもひきつづき取り組んだ。「本で旅する世界」を共通テーマに、各館で図書を選定し、11か月かけて全館を巡回した。また、主催行事や他機関との協働事業などでも、展示やブックトークを積極的におこなうことで関連資料を紹介している。

＜こども室・児童書コーナー＞

平成28年度の児童書の貸出冊数は1,089,797冊(1.3%増)、継続貸出を除く個人貸出冊数は985,621冊(1.5%増)であった。14歳以下の個人貸出人数は169,870人(3.6%増)、とくに0~5歳が13%増で、28年度も著しく増加している。ブックスタート事業などにより、図書館が子育て支援をおこなっていることが広く認知され、乳幼児連れの保護者の来館が増加していることが貸出増につながっていると考えられる。

28年度も子ども読書活動推進計画にもとづく取り組みをすすめた。活字を読むことが困難な子どもたちのための資料を集めた巡回展示や棚づくりなどを実施した。フロアワーク、学校図書館や地域との連携などにより、一人ひとりの子どもに応じた資料やサービスの提供をした。



高川図書館こども室の棚

◆ ヤングアダルト（YA）サービス

YA世代（おおむね12～18歳）の年齢別個人有効登録者数は、12歳～17歳18,736人（3.5%減）、18歳～21歳6,708人で横ばい。年齢別貸出人数においてはやや減少した。

平成28年度は市民団体・関係部局との連携が増え、青年の家いぶき進路フェア「2016 夢をかたちに！」で図書館ブース「本で発見！夢へのヒント」を設置。^や[～]YAらぼ（YAボランティア）は千里コラボまつりで「点字サークルつくしんぼ」、大阪大学ボランティアサークル「フロンティア」と点字体験イベントに参加した。また、千里公民館共催の人権講演会「絵本でつなぐこころの輪～豊中市出身の絵本作家ひぐちともこさんと語る絵本の力～」で読み聞かせをおこない、参加者は同世代・異世代との交流を深めた。

28年6月施行の選挙権年齢を18歳から引き下げる公職選挙法の改正にともない、新有権者に送付する啓発資料としてYAらぼ作成の「YA！BOOKS通信」が採用され、「YA！BOOKS通信 特別号/2016/夏」を大阪大学の待兼山文学会、関係部局と協力して発行した。

今後もYA世代の居場所づくりと社会参加の機会提供に取り組む。

各館での取り組み

岡町	高校生・大学生のための絵本の読み聞かせボランティア講座、豊中高等学校ボランティア「志学」の受け入れと課題研究授業資料の提供、桜塚高等学校へ出前講座と生徒の手づくり絵本の館内展示、職場体験学習おすすめ本POP、第三中学校読書郵便の展示、子どもとのつどい「本は友だち～いつでもそばにきみがいた～」（講師：宮下恵茉さん）開催および宮下恵茉「MSE8総選挙・都市伝説」巡回展示、「本で発見！夢へのヒント」巡回展示
庄内	「しゅくだいおうえんだん」、職場体験学習おすすめ本POP、第六中学校・第七中学校卒業生向けリーフレットに記事提供、「本で発見！夢へのヒント」巡回展示
千里	市内高等学校への学校訪問、職場体験学習おすすめ本POP、YA！BOOKS通信発行（選挙特別号/2016/夏・コラボまつり特別号/2016/秋）、千里青雲高等学校文化祭において図書館紹介のブース設置、「本で発見！夢へのヒント」巡回展示、千里青雲高等学校図書委員によるおすすめ本POP（千里コラボまつり期間）、豊中高等学校ボランティア「志学」の受け入れ、ふゆのおたのしみ会（YAらぼ企画・実施）、宮下恵茉巡回展示
野畠	特別支援学校の職場体験実習、豊中高等学校ボランティア「志学」の受け入れ、学校司書のおすすめ本POP、職場体験学習おすすめ本POP、第二中学校・第十四中学校調べ学習の成果発表の掲示物と参考図書の展示、第二中学校1年生おすすめ本POP、宮下恵茉巡回展示
東豊中	宮下恵茉巡回展示、エリア内の小中学校と連携し夏休み中にスタンプラリーを実施 冬休みに小・中学校連携巡回POP展示
服部	豊島小学校・緑地小学校・第四中学校・第十六中学校の調べ学習連携展示、第四中学校・第十六中学校図書委員への読み聞かせレクチャー、第四中学校図書委員によるおはなし会（おはなしポケッتسペシャル）、職場体験学習おすすめ本POP、宮下恵茉巡回展示
高川	「紙芝居ボランティア」によるおはなし会、職場体験学習おすすめ本POP、宮下恵茉巡回展示
蛍池	「Shaberi 場（しゃべりば）」（中高生はじめ市民の居場所）開設、豊中高等学校ボランティアおすすめ本POP、「本で発見！夢へのヒント」巡回展示、職場体験学習おすすめ本POP、学校図書館の活動紹介と作品展示、宮下恵茉巡回展示



「YA!BOOKS通信 特別号/2016/夏」

◆ 高齢者サービス

高齢者を対象としたサービスとして、老人憩の家などへの団体貸出をおこなっている。一方で、資料管理が施設の負担となる場合もあり、平成26年度から庄内図書館で豊中市全域の高齢者施設に団体リサイクルの利用を呼びかけている。28年度は20施設、1,290冊の利用があった。利用した施設にアンケートを取り、高齢者施設のニーズ把握につとめた。

また、デイサービスセンターや自治会からの依頼で、高齢者向け出前おはなし会をおこなったところ、昔話の絵本や紙芝居、地域の昔の写真の紹介などのプログラムが喜ばれた。さらに、定期的に開催している「医療健康情報レクチャー」でも認知症に関する講座を設けた。今後も高齢化社会に対応し、きめ細やかなサービスをおこなう。



高齢者施設でのおはなし会

◆ ブックスタート事業「えほんはじめまして」

絵本を介して赤ちゃんと保護者が楽しいひとときを過ごし、心ふれあう時間を持つきっかけとなることをめざし、子育ち・子育て応援事業の一環として4か月児健康診査において実施している。図書館と健康増進課、「豊中子ども文庫連絡会（豊子連）」、「おはなしボランティアポケット」をはじめとするボランティアと連携・協働し、健診を受ける一組一組にスタッフが読み聞かせをしたり、絵本の楽しみ方などを伝えたりして、絵本を手渡している。絵本を持ち帰ることで、家庭ですぐ絵本に親しむこともできるため、好評を得ている。また、この事業は母語が外国語の人や障害のある人に図書館サービスを案内する機会と

もなっている。

平成 28 年度も市内 3 か所で実施し、健診を受けられなかつた人には後日保健師による家庭訪問などで絵本を手渡した。(保健師による配布数 : 28 年度 65 件)

よりきめ細やかな対応をおこなうため、ボランティアスタッフを新たに募り、「ブックスタートボランティア講座」を開催した。また、事業に携わるスタッフの理解を深め、連携をより円滑にするため、研修を兼ねたスタッフミーティングと懇談会を実施した。

この事業は、市内のすべての赤ちゃんと保護者と関わりを持つことができる貴重な機会であり、新たな図書館利用の促進とともに、関係部局や豊子連、ボランティアスタッフとの協働によりさまざまな情報提供をすることで、地域の子育て支援サービスと市民をつなぐ役割も果たしている。

◆ 行政へのサービス（庁内仕事応援事業）

庁内各部局に対して資料の貸出やレファレンスサービスをおこなうとともに、各職階の新任職員研修（課長級・課長補佐級・係長級・5 年目・新規採用）での関連資料展示・貸出と業務に役立つ情報の提供をおこなっている。また、ひきつづき庁内仕事応援サイトによる情報発信にも取り組んでいる。

平成 28 年度は他部局が主催する職員対象の研修で関連資料の展示と貸出を実施したほか、議会インターンの合同研修会で情報リテラシーと図書館活用に関するレクチャーをおこなった。これらの庁内仕事応援事業を通して行政による市民サービスの向上につなげる。

◆ 団体へのサービス

学校、放課後こどもクラブ、こども園、幼稚園、保育所（園）、高齢者施設、障害者施設、子ども文庫・おはなしボランティアグループ・読書会などの自主的な活動グループに資料の貸出などの支援をおこなっている。

＜学校図書館＞

平成 28 年度の小・中学校図書館への貸出冊数は 59,173 冊（継続貸出 14,251 冊を含む）。

毎年 2 回、エリアごとに学校図書館と公共図書館司書との地域館交流会を実施している。野畠エリアでは「先生のための図書館通信」を作成し、担当校の教職員に配布することで、図書館活用への働きかけをおこなった。東豊中エリアでは夏休み期間中に学校・公共図書館で「スタンプラリー」を実施した。全市的に各エリア工夫をこらし、特色ある取り組みを展開している。

＜学校図書館支援ライブラリー＞

平成 23 年度から庄内幸町図書館では、学校図書館の「読書」「学習・情報」「教員支援」の 3 つの機能をサポートする拠点として運営してきたが、28 年度に教員支援用資料を螢池図書館に移管し、市民も自由に閲覧することが可能となった。同建物内には教育センターも位置しており、利便性が向上したことで、

教員も含めたさらなる利用促進をめざす。また、パッキング資料（調べ学習サポートパック・図鑑セット・百科事典）は物流の拠点である岡町図書館に移した。

<放課後こどもクラブ・幼稚園・保育所（園）など>

小学生向けには、定評のある本・紙芝居などを職員が選び、市内の小学校の放課後こどもクラブに貸し出している。平成28年度はアンケートを実施し、それぞれの要望に合わせた資料の提供につとめた。また、蛍池人権まちづくりセンターでは、児童館の職員と協力して図書室の蔵書の見直しやレイアウト変更などをおこなった。

未就学児向けには、幼稚園・保育所（園）・こども園・家庭保育所・認可外保育所に対して、教諭・保育士からの相談に応じ、貸出をおこなっている。28年度は幼稚園教諭・保育所（園）保育士・こども園教諭向け絵本講座の実施に加え、豊中市私立幼稚園連合会主催の教諭向け絵本講座に会場の提供や読み聞かせの実演などをおこなった。

<子ども文庫>

平成28年4月現在、12の子ども文庫があり、「豊中子ども文庫連絡会（豊子連）」加入は9文庫。

それぞれの地域で子どもに本を手渡し、子どもの育ちを見守る活動が続けられている。子どもの身近な居場所として、また、子どもをとりまく大人の交流の場として地域に根づいている。

図書館からは文庫活動を支援するために、長期の団体貸出や必要なテーマの資料を提供しているほか、28年度は子ども文庫を訪問し、現状や課題の聞き取りをおこなった。

毎年、おはなしや手づくり遊びを楽しむ「子どもと本のまつり」と「子どもと本のつどい」を豊子連と共に実施している。「子どもと本のつどい」では、あそび文化研究所所長の畠直樹さんの講演会と児童文学作家の宮下恵茉さんの講演会・ワークショップをおこなった。



宮下恵茉さんのワークショップ
「本は友だち～いつでもそばにきみがいた～」

<おはなしボランティア>

多くのボランティアグループが市内のさまざまな場所で活動している。子どもに対する読み聞かせのほか、自主的にボランティアの輪を広げる講座なども開催している。図書館に関連する各グループの活動内容については「市民との取り組み事業」（10・11ページ）を参照。

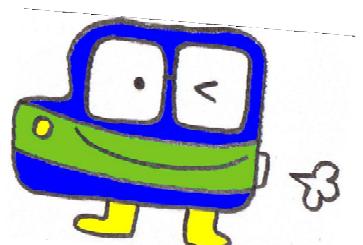
岡町図書館館外サービス室では読み聞かせに向く絵本を集めたコーナーをあらたに設けるなど、ボランティアが利用しやすい環境整備につとめた。また、小学校の読み聞かせボランティアを対象に絵本の読み聞かせ講座を実施し、読書相談などを通じて活動を支援した。今後も「子どもと本をつなぐボランティア講座」など、読み聞かせボランティアを始める人や活動中の人の支援を継続していく。

◆ 動く図書館「とよ1ぶっくる」による巡回サービス

図書館から離れた地域や来館が困難な子どもたちの通う施設へ動く図書館車に約 3,200 点の資料を乗せ、18 のステーションと 10 施設を約 4 週間に 1 回の頻度で巡回している。平成 28 年度は祝日と重なるなど巡回日が減少したため、動く図書館の年間貸出人数は 8,325 人(5.2% 減)、貸出冊数は 61,571 冊(4.5% 減) となった。

支援学校、児童発達支援センターではボランティアグループによる「おはなし会がやってきた！」を 3 施設でおこない、こども園、保育所（園）の卒園児を対象とした図書館職員によるおはなし会を 5 施設で実施した。また、ステーションでもボランティアグループによる「あおぞらおはなし会」をおこなった。

今後も来館困難な市民への資料提供につとめるとともに、各ステーションでの PR を通して利用を促進する。



動く図書館オリジナルキャラクター
とよ1ぶっくる

◆ 図書室

いぶき図書室には約 7,400 冊の資料があり、週 2 回午後から開室している。また、月 2 回図書室職員とボランティアの協力によりおはなし会をおこなっている。

豊島西小学校内のバス図書室には約 1,600 冊の資料があり、週 1 回午後開室している。当初は廃車した動く図書館車を活用していたが、老朽化により平成 25 年から校舎内に移転した。いぶき図書室・バス図書室をあわせた 28 年度の個人貸出人数は 7,124 人、貸出冊数は 22,147 冊であった。

今後も定期的に資料を入れ替えることで書架を新鮮に保ち、利用促進につなげる。

◆ 資料の収集と保存

収集に関しては、毎週 1 回職員で構成する選書委員会で、すべての選書をおこなっている。「豊中市立図書館資料収集方針」(Web サイトで公開)にもとづき、市民の主体的な生涯学習を支援していくために市民の要望および社会の動向にも配慮しながら、教養・調査研究・レクリエーション・ビジネス・日常生活に役立つ資料を収集している。

平成 28 年度も「暮らしの課題解決支援サービス」に関わる資料の整備に取り組んだ。限られた資料費のなか、図書館が果たすべき使命や役割を念頭に置き、リクエストやレファレンス内容の分析をおこなうとともに、府立図書館や他市の図書館との相互貸借制度・広域利用も活用し、利用者への多様な資料・情報提供をめざす。28 年度は保存資料を精査したため除籍数が増加した。市内の共同書庫である野畠図書館書庫の収容冊数がほぼ上限に達しているため、ひきつづき保存について検討する。

◆ 人権・平和に関する取り組み

市民向けの取り組みとして、各種資料展示や講演会、パネル展を実施し、市民と職員がともに人権・平和について考える機会としている。

また、職員が人権について理解を深め、市民への啓発につなげるため、年3回の研修をおこなっている。

事 業 名	講 師
市民向け人権講演会・資料展示・パネル展	
講演会「絵本でつなぐこころの輪～豊中市出身の絵本作家ひぐちともこさんと語る絵本の力～」(於：千里公民館)	絵本作家 ひぐち ともこさん
講演会「家族写真でめぐる私たちの歴史～さまざまなルーツをもつ女性たちが語るもうひとつの歴史～」(於：庄内公民館)	「在日」女性の集まり「ミリネ」代表 ファンボ カンジヤ 皇甫 康子さん
講演会「児童虐待の現状と課題」(於：野畠図書館)	NPO 法人児童虐待防止協会理事長 津崎 哲郎さん
資料展示「戦争と平和」(平和月間) 「男女共同参画」(男女共同参画週間) 共催：すてっぷ 「ユニセフ写真展」 主催：大阪ユニセフ協会 「すべての人へ本の喜びを」 協力：NPO 法人弱視の子どもたちに絵本を 等	
パネル展・資料展示「女性に対する暴力をなくす運動」共催：すてっぷ (於：岡町図書館・庄内図書館・千里図書館・野畠図書館)	
職 員 研 修	
「障害者差別解消法 実践編」	障害福祉課職員
人権啓発 DVD～シリーズ映像でみる人権の歴史～「東山文化を支えた“差別された人々”」、「江戸時代の身分制度と差別された人々」、「明治維新と賤民廃止令」の視聴とグループ討議	
人権啓発 DVD「あなたがあなたらしく生きるために～性的マイノリティと人権～」 視聴とグループ討議	

◆ 障害者サービス

身体上の都合で来館できない市民に宅配・郵送により資料を貸し出している。

視覚に障害のある人には、録音図書（音訳図書やデイジー図書^{*1}）・点訳図書の貸出、対面朗読を実施。

岡町・庄内・千里・野畠・螢池図書館には拡大読書器を設置するとともに、全館で大活字本を提供している。耳の不自由な人には筆談などによる対応のほか、補聴器用の磁気ループ^{*2}を千里・螢池図書館に設置している。平成28年4月からは、マルチメディアディジタル図書^{*3}の貸出を開始した。また、大阪ガスグループ“小さな灯”運動北東部支部より、プレクストーク^{*4}PTN2の寄贈があった。

録音図書・点訳図書の作成や対面朗読の実施は、ボランティアグループの協力によりおこなっており、「音訳ボランティアフォローアップ研修講座」を年2回実施している。また、日本図書館協会と国立国会図書館関西館主催の「障害者サービス担当職員向け講座」の実習生3名を受け入れた。

NPO法人やボランティア団体の協力のもと「すべての人へ本の喜びを～さわってよむ・きいてよむ・拡大してよむ～」を開催した。障害者向けのさまざまな資料の展示とガイドツアー、マルチメディアデイジーフォト＝音声情報を圧縮して記録したCD

*1 デイジーフォト＝音声情報を圧縮して記録したCD

*2 磁気ループ＝マイクを通した明瞭な音声を聞くためのシステム

*3 マルチメディアデイジーフォト＝音だけではなく、文章と画像を同時に再生できるデジタル図書

*4 プレクストーク＝デイジーフォトの再生機

28年4月から障害者差別解消法が施行され、より一層、市民への積極的な情報発信をおこなうとともに、関係機関、近隣の自治体、ボランティアグループなどとさらなる連携・協力をめざす。



「すべての人へ本の喜びを」の展示会場 および さわる絵本の製作講習

◆ 研修

平成28年度は、図書館専門研修として、学校図書館との連携を意識した研修のほか、全国の先進事例および業務に關係の深い社会動向を学ぶことにつとめ、図書館職員として必要な専門性や技能の向上に取り組んだ。また、図書館サービス計画研究所の仁上幸治さんを講師に招き、「図書館PR実践講座～豊中市立図書館職員のための味方づくり戦略入門～」というテーマで、市民との共催による講演会とワークショップを開催した。図書館職員が課題とするPRについて、マーケティングの視点から学んだ。より実効性のある研修とするため、半年後の振り返りを予定している。

一般研修として、個人情報保護の重要性を再確認し、漏えい事故を未然に防ぐため、「情報セキュリティ研修」を受講した。また、障害者差別解消法が施行されたことを受け、公共図書館における合理的配慮などのサービスのあり方について研修した。

職員の多様な雇用形態を踏まえて、職員一人ひとりのキャリア形成の視点を大事にした研修を企画するとともに、さまざまな研修への参加を通して、市民サービスの向上につなげる。

職員が受講した主な研修 (1名での参加から、職場として企画した全体研修まで)

専門研修	一般研修
公立図書館と学校図書館との合同研修	情報セキュリティ研修
国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 平成28年度図書館司書専門講座	「接遇振返り研修」事前研修・実施研修
平成28年度大阪府図書館司書セミナー 6回 「図書館サービス現場の合理的な配慮」等	説明力強化研修
平成28年度大阪公共図書館協会 障害者サービス基本研修	ウェブアクセシビリティ研修
第1回大阪公共図書館研修会 「私が『図書館超活用術』を書いた理由」	広報力向上研修
大子連児童文化講座 「本との出会い」等	豊中市こども施策推進本部会議等合同研修 「子どもの貧困とは何か？」
TRCセミナー「学校図書館のPR活動」	人権研修主任推進員・推進員等合同研修
大阪子ども読書活動ネットワークフォーラム 地区別研修「ビブリオバトル」研修	不当要求排除対策 ～行政対象暴力から悪質クレーマーまで～
近畿公共図書館協議会総会 「京都府立図書館の新しい取り組みについて ～オープンデータ化を中心に～」	指導力強化研修 「コーチングスキルとアンガーマネジメント」
平成28年度子ども読書活動推進リーダー研修 「子どもの読書と昔ばなし」等	職場接遇力スキルアップ研修フォローアップ研修
大阪公共図書館協会研修会 「市民は風 図書館は帆」等	ファシリテーション研修
平成28年度国会図書館資料保存研修	地域子育ち・子育て支援ネットワーク 子ども部会研修
セミナー「認知症にやさしい図書館とは? in 阪大」	人権から地域を考える集い
平成28年度国会図書館遠隔研修（前期・後期）	とよなか都市創造研究所 H27 調査研究報告会
近畿公共図書館協議会研究集会 「子どもの読書環境を考える」	野畠校区人権講演会「児童虐待の現状と課題」
第64回大阪公共図書館大会 「いま一步先の公共図書館へ ～市民・地域とともに歩む～」	E G おおさか・地域経済コンシェルジュ養成講座
国会図書館レファレンス・サービス研修 「人文情報を中心に」	契約事務研修
学習会「マイナンバーカードの図書館利用とは」	児童虐待の早期発見と予防
市民協働研修 図書館PR実践講座 「豊中市立図書館職員のための 味方づくり戦略入門」	新任研修・新規再任用職員研修 等
計：62講座 211人参加	計：24講座 148人参加